

講義名：環境問題概論 ＜秋集＞		ナンバリングコード： 0	
担当教員名： 巖 圭介			
研究室： 聖アンデレ館7階716号室		オフィスアワー： 火曜2限	メールアドレス： iwao@andrew.ac.jp
授業形態			
『講義』			
講義・演習概要			
地球温暖化、リサイクル、化学物質・・・、環境問題はすでに身近にあり、多くの人が漠然とした不安を持ちながら、しかし具体的に行動を起こすことなく毎日を送っている。私たちの生活の何がどのように問題なのか、多くの情報があふれかえる現在、信頼できる基礎知識を身につけ、これからの自分の行動を決めていかねばならない。この講義では、これからの時代を生きていくうえで必須と思われる、主要な環境問題に関する基礎知識と考え方を身につけてもらう。			
学習目標			
主要な環境問題(地球温暖化、ゴミ問題、人工化学物質汚染、酸性雨、オゾン層破壊、土壌劣化、水危機、食糧問題、エネルギー問題)について、起きている問題の内容とその原因を説明できる。それぞれの問題に対し、今何がなされているか、何ができるかを人に伝えられる。			
講義・演習計画			
【第1回】 イントロダクション		【第16回】 イン・クラス・レポートふりかえり 産業廃棄物	
【第2回】 地球温暖化1：現状と原因		【第17回】 化学物質汚染1：DDTとPCB	
【第3回】 地球温暖化2：これからの展望		【第18回】 化学物質汚染2：ダイオキシン	
【第4回】 地球温暖化3：適応策と緩和策		【第19回】 化学物質汚染3：農薬と化学肥料	
【第5回】 地球温暖化4：暮らしと対策		【第20回】 化学物質汚染4：リスク論	
【第6回】 地球温暖化5：バイオマスエネルギー		【第21回】 第3回イン・クラス・レポート	
【第7回】 地球温暖化6：国際的取組み		【第22回】 イン・クラス・レポートふりかえり 水質汚染	
【第8回】 第1回イン・クラス・レポート		【第23回】 水と土の危機	
【第9回】 イン・クラス・レポートふりかえり 原子力エネルギー		【第24回】 食糧問題	
【第10回】 ゴミ問題1：基本の枠組みと現状		【第25回】 第4回イン・クラス・レポート	
【第11回】 ゴミ問題2：リサイクル法		【第26回】 イン・クラス・レポートふりかえり 大気汚染と酸性雨	
【第12回】 ゴミ問題3：容器包装リサイクル		【第27回】 オゾン層破壊	
【第13回】 ゴミ問題4：LCA		【第28回】 地球の限界	
【第14回】 ゴミ問題5：循環型社会へ		【第29回】 まとめ：これからの地球に生きる	
【第15回】 第2回イン・クラス・レポート		【第30回】 総復習	
成績評価の方法			
試験	50%	レポート	50%
出席			0%
コメント	イン・クラス・レポートとは、授業時間中に課題してその場で書き上げて提出してもらふレポートで、その時点まで数回分の講義内容を振り返りまとめてもらうことを目的として4回程度実施する。そのほか、実際にいろいろ調査して出してもらふアクションレポートも3回程度実施する。レポートをすべて提出した上で、試験で6割程度得点すれば単位を与える。		
テキスト			
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
環境省編『平成27年版環境・循環型社会・生物多様性白書』、遠山益『人間環境学』裳華房 2001、石弘之『地球環境報告II』岩波新書 1998、安井至『市民のための環境学入門』丸善ライブラリー 1998、東京商工会議所『ECO検定公式テキスト』日本能率協会マネジメントセンター 2006他、松永和紀『メディア・バイアス』光文社 2007 他、適宜紹介する。			
事前および事後学習の指示（事前学習 60 時間 ・事後学習 60 時間）			
日常目にする環境関連のニュースなどをチェックし、常に情報をとりいれておくこと。授業では板書の負担を軽減するため穴埋めプリントを配付するが、その穴を埋めるだけで済むわけではない。ノートを取り、配付資料の内容と授業後に統合して整理することで、はじめて十分な理解ができるはずなので、次の授業までにきちんと復習をすること。			
その他備考(担当教員用)			
授業内容の順番やイン・クラス・レポートの日程については、進度や都合によって多少前後することがある。			
キーワード			
環境			
備考(管理者用)			